



2019年12月18日

各 位

会 社 名 株式会社RS Technologies
代表者名 代表取締役社長 方 永義
(コード番号 : 3445 東証一部)
問合せ先 取締役管理本部長 鈴木 正行
電 話 03-5709-7685

中国における投資計画の一部変更に関するお知らせ

当社は、2019年12月18日開催の取締役会において、2018年8月10日付「プライムシリコンウェーハ製造販売事業の新会社設立ならびに工場移転先決定に関するお知らせ」にて開示しております、山東省徳州市の新工場における投資計画につき一部変更することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当該投資計画について

2018年8月10日付「プライムシリコンウェーハ製造販売事業の新会社設立ならびに工場移設先決定に関するお知らせ」にて開示しておりますとおり、当社は、中国の旺盛なシリコンウェーハの需要に応えることを企図し、有研半導体材料有限公司と山東省徳州市政府との間で新会社「山東有研半導体材料有限公司」を設立し、新工場建設及び8インチシリコンウェーハの生産拠点の集約並びに生産能力増強（月産15万枚の増強）のための設備投資を計画し、現在は工場建設中であります。

2. 当該投資計画の一部変更について

現在、山東有研半導体材料有限公司において、当該投資計画に従い8インチシリコンウェーハの生産能力増強（月産15万枚の増強）を目指して新工場の建設を進めております。一方、昨今の中国における半導体メーカーの投資動向を鑑みますと、12インチシリコンウェーハの需要拡大が、より見込まれる状況へと変化しております。このような市場環境を踏まえ、当社では当該投資計画について再検討して参りました。

その結果、新工場における8インチシリコンウェーハ生産能力の増強を当面月産15万枚から5万枚（既存の生産能力と合わせて12万枚）へと変更することといたしました。同時に、中国における12インチシリコンウェーハビジネスへの参入を決定し、プライムシリコンウェーハの品質向上に必要な研究開発投資の開始、及び、再生ウェーハ事業の中国生産拠点投資を決定いたしました。当該中国における12インチシリコンウェーハビジネスは、有研科技集团有限公司（有研集団）、徳州滙達半導体股権投資基金パートナー企業（徳州市政府系有限パートナー）及び当社の3者が出資の上、山東省徳州市政府を加えた4者間で新たに合弁会社を設立し、リスクを最小限にとどめながら進めてまいります。なお、当該合弁会社は当社の持分法適用会社となる予定です。

3. 合併会社の概要

(1)名称	未定
(2)所在地	山東省徳州市
(3)代表者	方永義（董事長、当社代表取締役社長兼務）
(4)事業内容	12 インチシリコンウェーハ及びCZ インゴット・FZ インゴットの生産、販売、開発、関連技術の開発、12 インチシリコンウェーハの再生、その他。
(5)登録資本 (※)	20 億元（約 311 億円）
(6)設立年月日	2020 年 1 月以降
(7)決算期	12 月
(8)大株主及び持分比率	当社：19.99%、有研科技集团有限公司：19.99%、徳州滙達半導体股権投資基金パートナー企業：60.02%

(※) 最終的な資本構成であり、契約スケジュールに沿い、段階的に出資していく予定であります。

4. 今後の見通し

本件における投資計画変更が当社の当期業績に与える影響はありません。また、本件における投資計画変更を含む当社の中期経営計画について、変更が必要になった際は速やかに開示いたします。

以上